

科目名 (Eng)	美術 (Fine Arts)									
担当教員	高杉 和久									
対象学年等	学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数				分野	形態	学修単位科目	
	一般科目 (工学4科)	1	通年	必修	1	30	一般	C		
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(E-2)。(E-3)。(E-4) 修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：1)。 JABEE基準1(1)との対応：									
授業の概要と方針	自分の手を動かして物事を判断する感性を養い、種々の対象物のデッサンの技術を学ぶ。									
到達目標	①美術の歴史を通して、人間の営みと自然のかかわり合いを考察できること。 ②社会人としての知性と教養を磨き工学技術者としての基礎となるデッサンの技術をも身につけること。									
授業計画										
	週	授業項目	理解すべき内容						準備学習	
前期	1	美術についての初歩の心構え								
	2	美術についての初歩の心構え								
	3	ルネッサンス美術鑑賞(1)							ルネッサンス美術について学習しておくこと。	
	4	ルネッサンス美術鑑賞(2)								
	5	ルネッサンス美術鑑賞(3)								
	6	ルネッサンス美術鑑賞(4)								
	7	教科書の勉強(1)	平面と立体に関する描画方法等						描画方法について学習しておくこと。	
	8	教科書の勉強(2)	平面と立体に関する描画方法等							
	9	教科書の勉強(3)	平面と立体に関する描画方法等							
	10	教科書の勉強(4)	平面と立体に関する描画方法等							
後期	11	手のデッサン(1)	「手」をじっくり見ることにより観察力を養う						デッサン技術を学び、作品製作にのぞむこと。	
	12	手のデッサン(2)	「手」をじっくり見ることにより観察力を養う							
	13	手のデッサン(3)	「手」をじっくり見ることにより観察力を養う							
	14	立方体のデッサン(1)								
	15	立方体のデッサン(2)								
	16	立方体のデッサン(3)								
	17	立方体のデッサン(4)								
	18	ネジのデッサン(1)								
	19	ネジのデッサン(2)								
	20	ネジのデッサン(3)								
	21	ネジのデッサン(4)								
	22	車のデッサン(1)								
	23	車のデッサン(2)								
	24	車のデッサン(3)								
	25	車のデッサン(4)								
	26	未来の都市のデッサン(1)								
	27	未来の都市のデッサン(2)								
	28	未来の都市のデッサン(3)								
	29	未来の都市のデッサン(4)								
	30	手元の作品に対する総括的な講評								
試験について	中間試験も期末試験も実施しない。									
評価方法	平素の成績(作品・課題等)を100%で総合的に評価する。									
教科書	高校美術Ⅰ、日本文教出版									
参考書										
関連科目										
履修上の注意	実技においては、自由な創造を第一義に考え、感性の解放をテーマに、楽しみながら創作する。									